

## カナダエアロスペースミッションの来日

2018年1月22日から26日にかけて、AIAC（カナダ航空宇宙工業会）のJim Quick（ジム・クイック）専務理事を代表とするカナダエアロスペースミッションが来日し、経済産業省との打合せ、SJAC会員企業への訪問、地域の航空クラスターとの交流を行った。SJACも経済産業省とともにこのミッションの後援者となり、ミッションに同行したので、その様子を報告する。また、この機会にカナダ航空宇宙産業に関する主要統計数値やクラスター支援策の情報も入手したので、記載する。

### 1. ミッションスケジュール

日付	行事・訪問先
1月22日 午前	オープニングセッション 在日カナダ大使館
午後	視察 (株)SUBARU宇都宮製作所
1月23日 午前	視察 川崎重工業(株)岐阜工場
午後	中部地区クラスターとの打合せ@天竜工業(株)
1月24日 午前	打合せ 三菱重工業(株)大江工場
午後	京都地区クラスター（KAIN）との打合せ (株)寺内製作所
1月25日 午前	視察 新明和工業(株)甲南工場
午後	視察 エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)神戸空港メンテナンス工場
1月26日 午前	クロージング及び東京地区クラスターとの打合せ 在日カナダ大使館



1月22日に在日カナダ大使館にてオープニングセッション  
 左から二人目はアルン・アレクサンダー公使、三人目は今清水SJAC専務理事  
 中央は経済産業省 航空機武器宇宙産業課 畑田課長、  
 右から3人目はミッション団長のジム・クイックAIAC専務理事

## 2. 訪問目的及び訪問先での様子

今回のミッションの目的として、カナダサイドからは以下の2点が示された。

- ▶2014年の第一回カナダ航空ミッションのフォローアップをおこない、日本との協力関係の強化を図る。
- ▶仕事の共同受託や技術革新での協力により、将来のOEMプロジェクトでのパートナーシップの機会を展望する。

ミッションスケジュールにある各訪問先では各社幹部に対応いただくとともに、調達部門からも打合せに参加していただいたことに対し、カナダ側から謝意が伝えられている。

1月22日午後(株)SUBARU宇都宮製作所訪問時には、ボーイング777X用部品の新規製造工程などを視察した。当日は大雪の中、戸塚国際委員長は長時間にわたり各社からのプレ

ゼンとその質疑に対応され、また参加企業の中の長年のビジネスパートナーとの交友を深められた。

1月23日の午前には川崎重工業(株)岐阜工場を訪問し、下川執行役員 航空宇宙カンパニーバイスプレジデント兼生産本部長や資材部長との懇談と工場視察をおこない、午後は中部クラスターとの打合せを天竜工業(株)にておこなった。

1月24日の午前には三菱重工業(株)の大江工場にて民間機事業部門の関係者より同社のカナダ工場でのオペレーションの説明と質疑をおこなった。

1月24日午後は京都地区クラスター(KAIN)とのネットワークミーティングが(株)寺内製作所において行われた。

日加双方の会社よりプレゼンの後、通訳を



ジム・クイックAIAC専務理事より(株)SUBARU航空宇宙カンパニープレジデント (SJAC国際委員長) 戸塚常務執行役員へ記念品の贈呈



(株)寺内製作所 代表取締役社長 山本氏へジム・クイック氏より記念品の贈呈

介しての質疑応答をおこなった。

カナダ側は契約概念につき具体例を用いながら、ワランテー、ライアビリテーのことを丁寧に説明した。

また、OEMからの見積りパッケージは5日以内での回答が標準であり、短期間での対応が求められること、国際取引ではコンタクトポイントの一つにすることが好まれるなどのコメントもあった。

KAINの加盟企業は(株)寺内製作所、(株)KOYO熱錬、(株)毛戸製作所、(株)草川精機、(株)中金、川崎機械工業(株)の6社より構成。詳しくは<https://namac.jp/cluster/222>を参照下さい。

1月25日の午前は新明和工業(株)甲南工場を訪問し、深井取締役 常務執行役員 航空機事業部長ほか幹部の皆様との懇談の後、整備中のUS-2を含む工場視察をおこなった。同日午後はエアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)の神戸空港メンテナンス工場にてフライトシミュレーションを含む整備施設の視察をおこなった。

1月26日は東京の在日本カナダ大使館において、クロージング及び東京地区クラスターとのマッチングが経済産業省 航空機武器宇宙産業課 航空機部品・素材産業室 斎藤室長も参加して実施され、昼食での懇談を経て訪日ミッションの日程は終了した。

### 3. カナダミッションメンバー

団長：Jim Quick、President & CEO、AIAC  
(カナダ航空宇宙工業会 専務理事)

#### 参加会社 (3社)

Avcorp Industries, Inc.

(会社HP：[www.avcorp.com](http://www.avcorp.com))

Mr. Steven J. Archer, Vice President Asia

Cyclone Manufacturing Inc.

(会社HP：[www.cyclonemfg.com](http://www.cyclonemfg.com))

Mr. Daniel Dobrjanski, Vice President,  
Business Development

LISI Aerospace Canada

(会社HP：[www.lisi-aerospace.com](http://www.lisi-aerospace.com))

Mr. Jacques Bonaventure, Vice-President,  
Sales, Americas and Pacific Rim

明官 智樹 日本担当フィールドマネージャー (日本駐在)

カナダ航空宇宙工業会 (AIAC -Aerospace Industries Association of Canada) からの参加者

Mr. Mike Mueller, VP, AIAC Pacific

カナダ政府関係者

ISED (Innovation, Science and Economic Development Canada) /Aerospace, Defense & Marine Branch

Mr. Martin Sullivan, Senior Commercial Officer (aerospace)

- 在日カナダ大使館

Ms. Julie Poirier, 一等書記官 (Advanced Manufacturing: aerospace/defense & transportation)

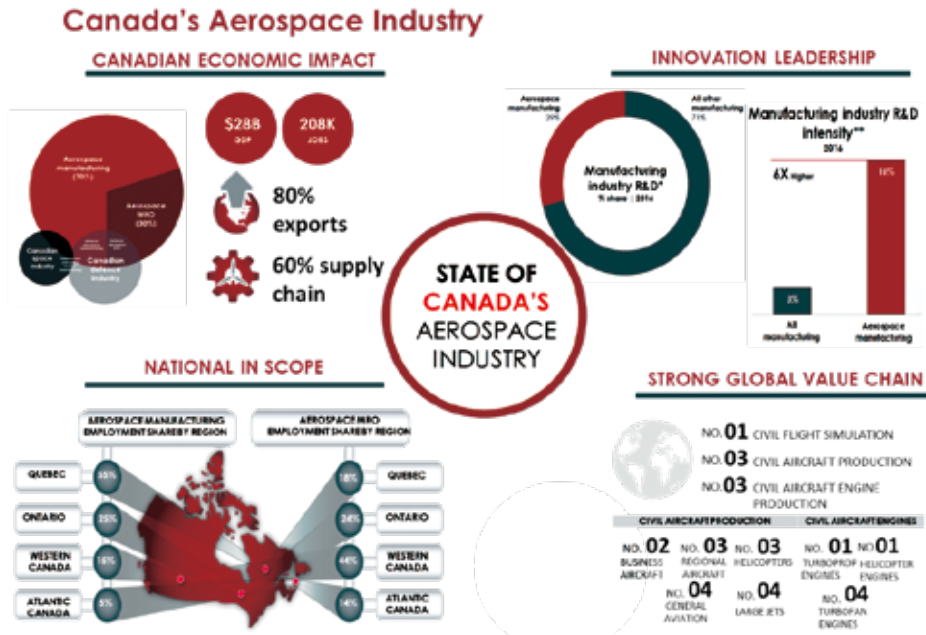
矢部 甯治郎 商務官 (航空宇宙部門)

- 在日カナダ領事館 (名古屋)

出射 幸治 商務官

4. カナダ航空宇宙産業の主要統計数値及びクラスター支援策

この機会にカナダ航空宇宙産業の主要統計数値やクラスター支援策に関する情報を得たのでここに紹介する。



(出典：Mr. Martin Sullivan 氏 (Canada, ISED) プレゼン資料より)

1) 主要統計数値

売上げ 280億カナダドル(約2兆5,200億円)  
 就労人口 208,000人  
 売上高の内訳は製造部門が70%、MRO部門が30%の比率となる。

製造部門はQuebec州(モントリオールなどがある東部)に集中し、同地区は製造部門売上げ高の55%を占め、MRO部門はWestern Canada州(カナダ中部)が44%を占める。

民間のフライトシュミレーターは世界1位、民間航空機製造は世界3位。

民間航空エンジンの製造では世界3位など世界的な強みを持っている。

\* 筆者注記

上記に該当する会社は以下とのこと。  
 フライトシュミレーターはCAE社、民間航空機製造はBombardier社、民間航空エンジン製造はP&W Canada社

2) クラスター支援策

最大5クラスターに対し5年間で950百万カナダドル(約855億円)の支援策を準備し、現在は対象となるクラスターの選定中とのこと。

(注記：支援策は直接の補助金ではなく、政策的な取組を含む支援策である模様。詳細は今後調査していく。)

クラスターには製造会社・研究機関・人材育成/教育機関・公官庁の4つの構成部門があり、お互いに連携しているとのこと。

5. 所感

今回のカナダ側の参加企業は各社とも自社の製品の特徴(強み)を明確にしてプレゼンをおこない、日本企業との取引拡大を真剣に考えているとの印象を受けた。背景にはボーイング社に代表されるOEMのコストダウンの要求が厳しくなっていること、カナダ特有の事情としてボンバルディア社とエアバス社

## Innovation Superclusters Initiative

By pulling in large firms, innovative small and medium-sized enterprises and industry-relevant research institutions, business leaders will come together—with partners and in new ways—to build business-led innovation superclusters at scale.



(出典：Mr. Martin Sullivan 氏 (Canada, ISED) プレゼン資料より)

とのCシリーズ提携により、将来への見通しが今まで通りには行かないとの危機感がある。

一方、地域クラスターとの打合せでは国際取引の基本となる契約概念につき具体例を用いながら丁寧に説明する懐の深さを見た。今

後も両国の会社がお互いに利益になるような機会を設けていきたい。最後になりましたが、今回のミッション受け入れにご尽力いただいた関係各位に改めて御礼を申し上げます。

[一般社団法人 日本航空宇宙工業会 国際部長 羽中田 実]